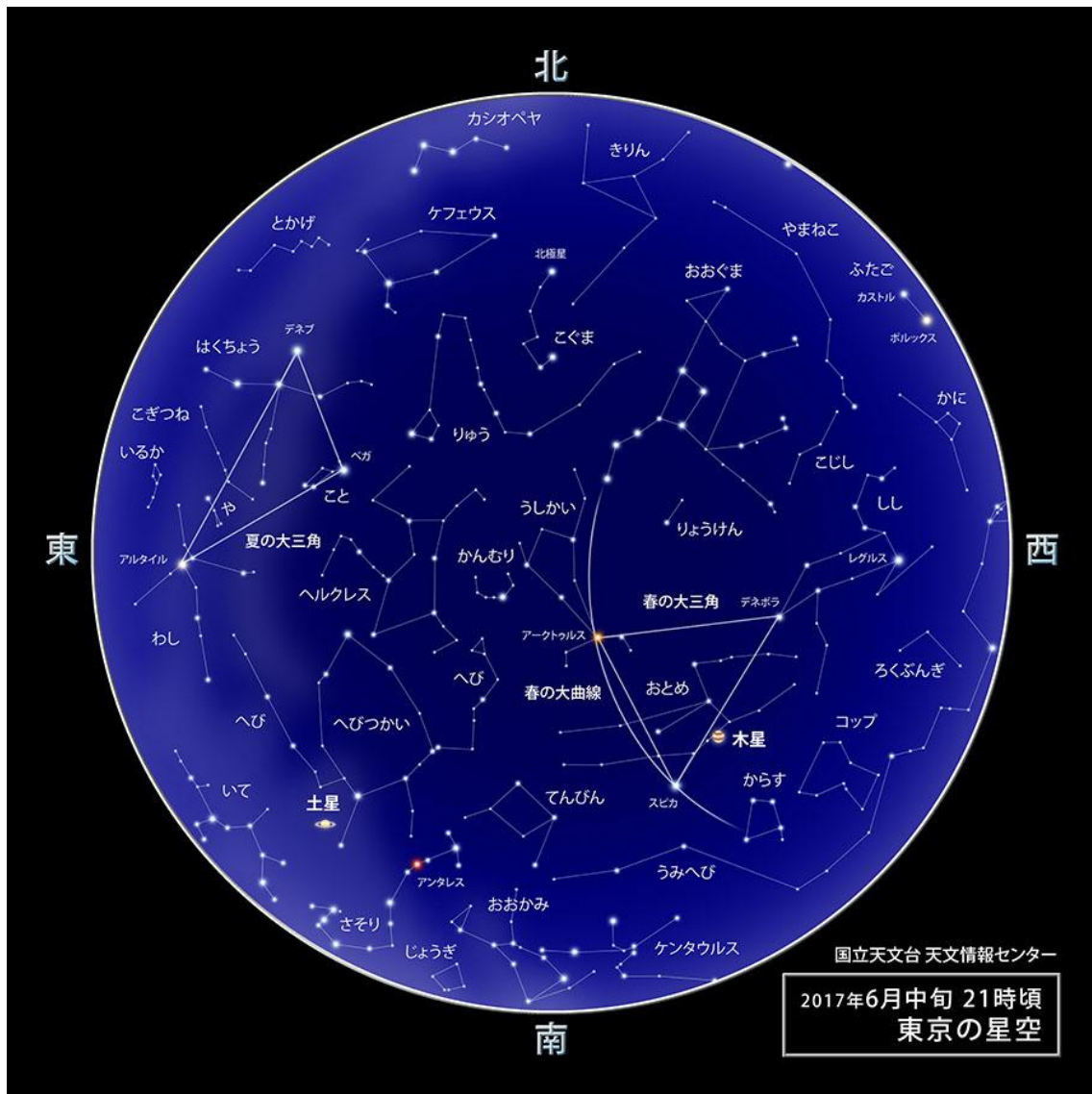


6月の星空案内



南の空、北斗七星からたどる「春の大曲線」が見ごろをむかえています。北斗七星の持ち手のカーブを伸ばして見つかるのが、うしかい座のアークトゥルスと、おとめ座のスピカ。さらに今年はスピカの近くにひととき明るく輝く木星が見つかります。

東の空には土星の姿も見え始めています。6月15日に衝をむかえ、今まさに見ごろをむかえています。

★6月の星空ガイド★

6日(火)	ジョンソン彗星が見やすい(5等級)
9日(金)	○満月(今年一番小さい月)
11日(日)	入梅
12日(月)	ジョンソン彗星が近日点通過
15日(木)	土星が衝
21日(水)	夏至
24日(土)	●新月

土星のわっかを見てみよう!



土星の環は、傾きによって見えやすい年や、環が一直線になって見えない年もあります。今年の土星は、環が大きく開く年(10月17日に最大)。望遠鏡で観察してみましょう!